

ALL JAPAN DIRTTRIAL CHAMPIONSHIP 2016 REPORT

開催日時 2016年3月19日(土)～20日(日)
 開催場所 丸和オートランド那須
 大会名称 2016年JAF全日本ダートトライアル選手権第1戦 DIRT-TRIAL in NASU
 参加台数 150台(内SA2クラス24台)
 順位 SA2優勝 シリーズランキング 1位 20pt

2016年全日本ダートトライアル選手権が開幕

全8戦で戦われる全日本ダートトライアル選手権。開幕戦は関東におけるダートトライアルの聖地丸和オートランド那須にて開催された。昨年PN2クラスにて2年連続チャンピオンを獲得。2016年は新型WRX STIを投入してSA2ステップアップを図る。ランサーエボリューションのワンメイク状態になっているSA2クラスということで、今回のWRX STIでの参戦は会場でも大きな注目を集めていた。



【HEAT 1】

TIME 1'50" 605 順位 2位 DIREZZA 87RW 205/65R15

ゼッケンが103番ということで、走行時には路面は履け丸和特有のコンクリート路面が出ている状況。タイヤ的には硬質用タイヤの87Rをチョイスしたいところだが、タイムアップが予想されるHEAT2へ使うために温存しHEAT2に向けたマシンのフィーリングチェックに徹した。タイム的にはトップに1.5秒ほど離されてしまったが、ライバルが超硬質タイヤをチョイスしていたこともあり、確かな手ごたえを感じることができた。



【HEAT 2】

TIME 1'47" 226 順位 1位 DIREZZA 92R DT 205/65R15

HEAT2前に行われた散水が思いのほか乾かない状況での走行となってしまったが、後半のハイスピード区間の路面状況に合わせて超硬質タイヤ92Rをチョイスした。のべ200台以上のマシンが走ったことにより路面は荒れていたが、そういう路面での安定性が良いWRX STIはコントロールラブルでノーミスでフィニッシュすることができ、逆転でデビューウィンを飾ることができた。



【Technical Report】

今回は、新型WRX STIのデビュー戦ということで、ライバルとのポテンシャルを初めて比較することができた。今回のように路面状況が荒れたり、コーナーが多いコースレイアウトでは、ランサーエボリューションに比べメリットがあることが分かった。しかし、低速コーナーからの立ち上がりでは低速トルクに勝るランサーエボリューションが速く、コースによって苦戦を強いられる可能性があると感じた。タイヤについては、温まってからの92Rのトラクションは良く前半区間でのタイムロスを少なく抑えることができたことが勝因の一つとなった。















